

# ○広島大学・広島市と連携し、**リアリティのある国際会議誘致・開催説明会**を開催

## 今年度の取組

### 従来の取組の課題

- 従来の説明会では実際の会議開催のイメージがつかみにくい。
- 広島市で国際会議を開催する魅力を十分に周知できない。
- 広島大学以外の大学や地域への横展開が不十分。

## リアリティのある国際会議誘致・開催説明会

- 国際会議会場候補となる**ヒルトン広島**で開催
- 将来、国際会議を主催する可能性のある**広島大学**および**広島県内の大学の若手研究者**を対象
- 人的ネットワーク構築のための**交流会**を開催
- 広島ならではのおもてなしである**神楽鑑賞**や、**日本酒鏡開き**などを体験



会場のヒルトン広島

## 「広島産学公連携MICE推進協議会」（※）を中心に「**チーム広島**」で実施！

### 期待される効果

- 国際会議開催の**意義の再認識**と開催への**動機付け**
- 国際会議開催のための**ノウハウ伝授**や**ネットワーク構築**
- ビューローの**国際会議支援内容を周知**して**会議主催の不安を払拭**

※ 関係団体、大学、行政機関等で構成。  
平成24年設置。

- 翌年度以降の取組の継続により「**チーム広島**」としての連携を更に強化

## 实施概要

**日時**： 9/28（土） 10:30～13:40

**会場：ヒルトン広島**

**参加者：**広島大学  
県立広島大学  
広島市立大学  
広島女学院大学  
安田女子大学  
広島工業大学  
広島国際大学等  
合計 109 名

## プログラム:



講演（広島大学宮崎  
理事・副学長）



会議開催サポート紹介  
(CB、PCO)



## ラウンドテーブル



交流会

- 【第1部】・講演（広島大学理事）  
「学会・シンポジウム・研究集会等の開催に向けて」  
・会議開催サポーター紹介（コンベンションビューロー、PCO2社）  
・ラウンドテーブル（国際会議主催経験者を囲んだ懇談会）

## 【第2部】交流会（模擬レセプション）

- 海外大学との間で構築したネットワークを活用し、大学自体が国際会議を主催することで、学内研究者の横のつながりを強化。複数の国際会議の連携開催を目指す。

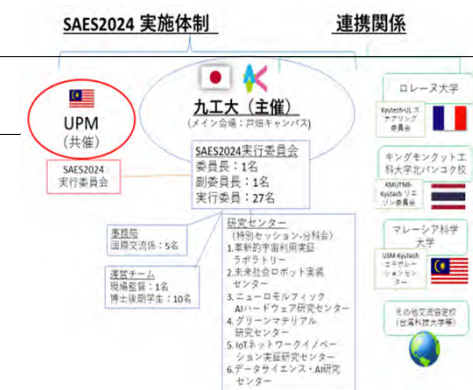
## 開催概要

**会議名称：**12nd International Symposium on Applied Engineering and Sciences (SAES 2024)  
**日時：**11/14（木）～11/15（金）

**会場：**九州工業大学戸畑キャンパス  
**参加者：**310名（7カ国地域/日本、マレーシア、タイ、フランス  
 インド、他）

## 今年度の取組

- 九州工業大では、マレーシアプトラ大学と連携し、2013年より2国間の国際合同シンポジウムを交互に開催。参加した研究者の国際共著論文数の増加等の成果を上げてきた。
- 多国間国際合同シンポジウム・国際会議に今後発展させるべく、今年度は、両校が交流する各国大学に門戸を解放。両大学以外からも参加できるシンポジウムとして開催。
- 大学が中心となって本会議を主催し、学内の7つの研究センターも参画して分科会を開催することにより、これまで国際会議の開催に関わる機会が少なかった研究者・教員が直接運営に携わる場を創出。（合計30名以上の教職員の連携体制で本国際会議を実施）



## 翌年度以降の取組（予定）

- 翌年度以降も**多国間連携を推進**し、国際シンポジウムの開催を通じて**若手研究者を育成**。将来的には**本格的な国際会議の開催を目指す**。

(2025年度・2026年度) 海外連携大学との合同国際セミナー（本学開催）を3国間、4国間の連携により開催

（2027年度）重点交流協定校と開催している**複数の国際会議を連携開催**するとともに、研究テーマ、開催趣旨に合致した一般の参加者も広く募り、世界各国からの研究者の交流の場となる**本格的な国際会議の企画立案・調整を始める**（開催時期目標：2028年）



# R6年度大学における国際会議誘致開催促進事業

## 採択事例：有機エレクトロニクスに関する第16回アジア会議（大阪公立大学）

- **地元自治体（大阪府、大阪市・堺市）と連携**し、将来の国際会議誘致に向けた**主催者育成、大学へのノウハウ蓄積**に取り組むとともに、**地域の産業振興**にも貢献。

### 開催概要

**会議名称：**The 16<sup>th</sup> Asian Conference on Organic electronics (A-COE2024)

**日時：**11/19（火）～11/22（金）

**会場：**大阪公立大学 I-siteなんば

**参加者：**183名（9カ国地域/日本、中国、韓国、台湾、香港、マカオ、シンガポール、英国、ベトナム）

### 今年度の取組

- 今年度、**有機エレクトロニクスに関する国際会議**を開催。

**若手研究者主催によるサテライト会議**を通じて将来の主催者育成に取り組む。

※本会議にも、国際会議主催経験のない若手研究員4名が実行委員として参画。

- 大阪公立大学の産学官民競争推進室が開催を大学組織として実体的に支援。**大学の誘致力強化**につなげるため、大阪観光局との情報共有により、**大学事務職員（産学官民共創推進室）**が開催にあたっての**課題検証、ノウハウの蓄積を図る場として活用**。あわせて、**大学側が支援メニューを作成（堺市とも共有）**し、次なる国際会議誘致にも役立てる。

- 自治体との連携により、地元半導体関連企業の研究者への参加案内や地元産業をテーマとしたセミナー開催を実施。

**地域の産業振興にも貢献。**



### 翌年度以降の取組（予定）

- 今年度の開催で国際会議運営を学んだ若手研究者・大学職員により、**2025年に大学による国際会議開催や、**

**中小規模の国際会議誘致**を目指す。

- ・ The 2025 KJF-International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics (KJF-ICOMEPEP 2025)
- ・ The 24th International Discussion and Conference on Nano Interface Controlled Electronic Devices (IDC-NICE2025)
- ・ アジア・ラウンドテーブル（仮称・大阪公立大学主催）

- 長期的に権威ある大型国際会議の誘致**を目指す。

- ・ 2026年以降、有機エレクトロニクスを主とし、その周辺領域である有機合成、光化学、フレキシブルデバイス、有機光・電子デバイスなどを含む大型国際会議の誘致を行う。

